

ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)

群馬県前橋市元総社町七三-15

TEL 027-2555-3434

FAX 027-2555-3435

http://www.neues-asahi.jp

子供の頃から何度となく両親に連れられて行った赤城山。

NHKの「にっぽん百名山」で赤城山が取り上げられていました。

標高一八二八メートル。主峰黒檜山をはじめ駒ヶ岳、地藏岳、荒山、鍋割山、鈴ヶ岳、長七郎山などの総称を「赤城山」というそうです。

番組では大沼を出発して黒檜山をめざして岩場の続くコース。途中にはツツジや珍しい植物が風に揺れていました。黒檜山頂からの雲海は素晴らしいもので、赤城山の知らない姿を見ました。

伊勢崎方面から見える姿が女性の寝姿に似ている・・・とか。赤城山全景は、季節により表情豊かな姿を見せる美しい山です。

十一年前に群馬県立土屋文明記念文学館編集による「あゝこれ山」赤城山文学紀行が出版されました。

昔から信仰の山として、また明治以降は多くの文人、芸術家が静寂を求め、赤城山の魅力に取りつかれ、作品を残しました。

赤城山の懐に抱かれているような場所に住んでいながら意外と知らない事が多いものです。黒檜山も機会があれば、また体力があるうちに一度は登ってみたいと思いました。

猛暑が続く毎日。汗を流して登山をし、赤城の湯につかり、そしてトンカツでも食べる・・・そんな一日を是非実現したいものです。

それにしても猛暑続きで、冷房なしでは生活が出来ない毎日です。

そして、世界各国での異常気象には驚かされます。スウェーデンでは猛暑と乾燥のため「建国史上最悪の山火事」が発生。七月五日にはアフリカのアルジェリアで五、三度を記録。北半球の国々では高速道路のアスファルトが浮き上がったたり、溶けたりと考えられない、人類が経験する未知の気象の領域に入ったともいわれています。

こんな時にはと、昼食時にネパール人が経営しているカレー屋さんに行つて三種のカレーとナンをいただき、最後に熱いチャイをいただきました。店の窓からは赤城山が見え、店の中はインド音楽と映像が流れ、店内装飾はネパールとインドのミックスで多文化昼食といった感じで心身共にリフレッシュ。

この暑さの中、体力維持には口から入れる食材や量、バランスの整った食事を考え、生活環境も工夫して室温、湿度なども含めストレスを少しでも抱え込まないようにしたいものです。

(武藤)

ノイエス朝日〈展覧会〉のご案内

斉藤健司作品展

〈企画〉

— 73年目の夏 —

会期 八月四日(土)～十五日(水)

午前十時～午後五時三十分(最終日は午後五時)

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

第53回 自由美術群馬展

会期 八月十八日(土)～二十二日(水)

午前十時～午後五時三十分(最終日は午後五時)

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

*八月十九日(日)午後二時～会場にて自由参加の批評会を行います。

主催 自由美術群馬研究会

後援 上毛新聞社 群馬テレビ 群馬芸術文化協会

事務局 前橋市江木町九〇九の一(多胡 宏)

夢の旅人たち展

〈企画〉

GUNMA ART BRUT

会期 八月二十九日(水)～九月四日(火)

午前十時～午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

企画 ノイエス朝日

NPO法人工房あかね アトリエART・ON

キュレーション 前島芳隆・上野理津子・朝岡研

問合せ先 027-387-0011

NPO法人工房あかね

アトリエART・ON

八月二十九日からノイエス朝日で開催する群馬アールブルリユット「夢の旅人たち展」にも出品する黒澤直啓氏がある画廊で個展を開催していたので出かけてきました。

ワイヤーアートというワイヤーで恐竜や動物、昆虫などをリアルに表現して作品として仕上げています。

生き生きとした動きは心ときめき、一点「オサガメ」を譲っていただきました。

早速、浦島太郎ではないですが自宅玄関に客人迎いのメンバーとして加えました。

九月一日には、黒澤氏のライブパフォーマンスもあり、また同日、吉田興平氏による「紙ふぶき」ライブパフォーマンス。また、翌日の二日には、リュウ2「トバシ」ライブペインティングがありますので、お誘い合わせの上、お出かけ下さい。お待ちしております。

お知らせ情報

詩と音楽&絵によるパフォーマンス

原慶子 詩集「地上から天上愛に移る時」より

日時 八月二十五日(土)開演午後二時～

会場 新生会 桜が丘芸術ホール

入場無料 要予約 電話027-374-1511

出演 リーディング 笠井里美(俳優)

音楽 熊坂路得子(アコーディオン)

ライブペインティング 小林裕児(画家)

詩 原慶子

*パンフレットは、ノイエス朝日にあります。

模写展 ヨーロッパ古典絵画の輝きを解きあかす

会期 開催中～九月二十四日(月・祝)

午前十時～午後五時 休館日 月曜日

会場 大川美術館(桐生)

電話 0277-46-3300

入場料 一般1000円

*パンフレットは、ノイエス朝日にあります。